

マリン児島だより

No.21

平成28年4月発行
マリン児島地区
社会福祉協議会
(児島小学校区)
事務局 ☎473-2432
印刷: (有)タナベ印刷

特集

マリン児島地区社協のパトロール隊編成による子ども安全パトロールは、既に11年目を迎え、日々地道な活動を行っています。が、今号はそんなパトロール隊に関する特集をしてみました。

地道な見守り11年目
子ども安全パトロール



①安全パトロール
感謝の会

2月1日(月)朝、児島小学校体育館に全校児童が集合し、マリン安全パトロール隊に対し学校主催の「感謝の会」が盛大に開催された。

全校児童を代表し、6年大塚すずさんから日頃の登下校の見守りに対してお礼のメッセージが述べられた。感謝の言葉に対しパトロール

ル隊を代表し坂本要一さんから返礼の挨拶が述べられ、最後に全校児童が手書きしたお礼の手紙がパトロール隊員にそれぞれ手渡された。



パトロール隊の皆さん
ありがとうございます！

児島小学校 6年 大塚 すず
児童代表

いつも私たちの登下校を支えてくださりありがとうございます。私たち6年生は、ここにいる在校生の中で一番長くパトロールの方々のお世話になっています。登校している時に、「おは

よう！いつてらっしゃい！」下校の際には笑顔で「おかえりなさい！」日々の優しい声かけは、いつも心があたたくなるのを感じました。

思い出つまった6年間

こうしてふり返つてみると私たちの6年間とても短かったようにも思えます。それでも、私たちが通学路を通った6年間には安全パトロールの方々の思いがたくさんつまっています。私たちは4月からは中学生。今まで通っていた通学路とは少しちがう通学路を通ることになります。不安な気持ちもありますが、安全パトロール隊の方々の思い出と感謝の気持ちを忘れないよう歩んでいきたいと思っています。ありがとうございます。

②「まちづくり賞」受賞



表彰状
まちづくり賞
マリン子ども安全パトロール隊
貴団体の犯罪のない安全・安心なまちづくりを自覚して積極的に活動され、その内容が他の機関に認められますので岡山県表彰規程により表彰します。
平成27年10月14日
岡山県知事 伊原 隆太

犯罪のない安全・安心なまちづくり知事表彰の「まちづくり賞」を受賞した。

これを受け、感謝の会の席上において岡田文夫会長からパトロール隊に表彰状が代読により授与された。

この度の受賞は、マリンパトロール隊の活動が犯罪のない安全・安心なまちづくりに積極的に貢献したということが認められたもので、大変名誉ある受賞となった。なお、表彰状は学校に設置されました。

③前向きに連絡会議

1年の反省を主体とした安全パトロール連絡会議が2月26日(金)児島小学校で児島警察署、児島小学校、パトロール隊代表、マリン地区社協が出席の上開催された。

パトロール隊員からは、子ども達との接点で喜びを感じたり、また隊員が高齢化しており若い隊員の参加を求める声や新しい仕組みづくり等前向きな意見が多数出された。

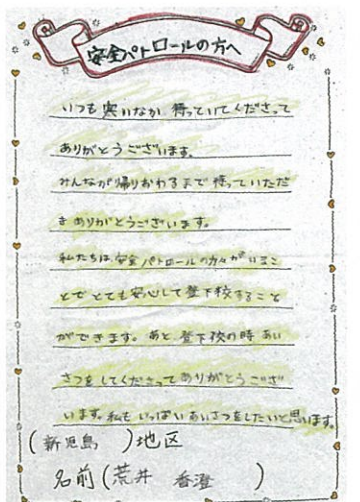
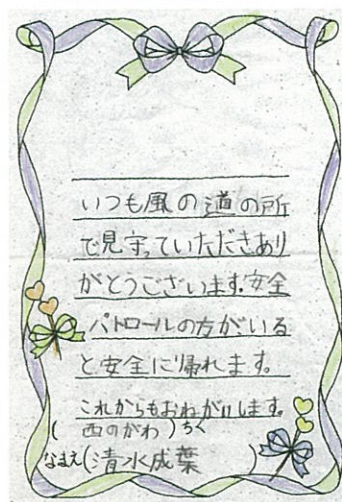
また、併せて防犯の出前講座も開催され、貴重な新情報も参考となった。

安全パトロール隊員募集中

ご協力くださる方大歓迎です。
連絡先: 森本事務局長
☎472 - 9667



活発な意見が



各パトロール隊員に手渡されたお礼の手紙の一部

私の生まれた所は大島という港町で、名前の由来になった鷺が羽根を広げたような姿に見える鷺羽山の麓にあります。いくつかの細い路地が山の方へ伸びていて、家がびっしりとつんでいます。私の家はお寺のすぐ下であり、大きな井戸がすぐ横にありました。お母さん達が大きなたらいを持ち寄って洗濯をしたり、魚をさばいたりして、やれ誰が結婚が決まったとか、どこどこのお婆さんの具合が悪そうとか皆で喜んだり、心配していた頃をなつかしく思い出します。夏になると今のようにエアコンがありませんから縁台に座り海風にすずみながら大人達

人とのつながりに
想うこと

マリン児島地区社協
広報部長 中塚 三与

は話をしていました。冬になると井戸端にドラム缶を持ち出して木切を燃やし皆で暖を取っていました。私達も学校へ行く前に大人を押しの手を温めてから出



かけていました。今はどの家庭も冷暖房の設備があり、夕涼みに出てくる人も、たき火をする人もいなくなりました。先日、愛育委員の主催する「三二健康



自主防災組織の結成を！

第2回防災講演会

地域の自主防災組織の結成を目指し1月23日(土)小川中公会堂でマリン事業として第二回目の防災をテーマとした講演会を開催した。

市危機管理室、災害ボランティア連絡会の説明に自治会役員、地域住民、関係者55名の多数が参加され、自主防災の大切さ・災害事例に聞き

入ると共に炊き出し訓練やカレー試食等の体験も実施した。

これを機にこれから迫る災害に向けて自主防災組織の結成に繋がる事が期待されている。

各自治会等で個別の防災出前講座を希望される場合は、マリン事務局まで気軽にご相談下さい。



自主防災組織とは

- ・地域住民が自主的に結成する防災組織
- ・町内会単位で結成(倉敷市結成率56%)

ミニ健康展大盛況！

123名が参加

健康は今や中高年の一大関心事。正にそれを象徴するかのように、去る2月5日(金)小川中公会堂開催の今年のミニ健康展には123名が参加するほどの盛況ぶり。

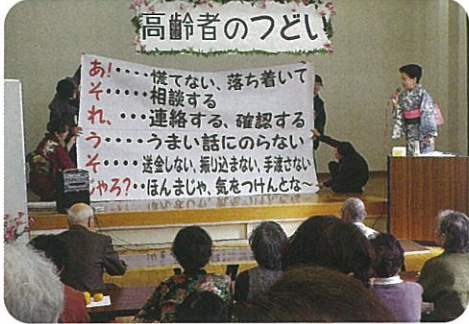
当日は、健康の中身が満載で、まずは家守美智子先生による「楽しんでいきますか、毎日の食事」と題しての食事

秋空の文化の日、マリン児島地区社協主催の『高齢者サロンの集い』が開催された。

の講演に始まり参加型の楽しい催しで会場は笑いがいっぱい。仕上げは、児島学区婦人会の心のこもった手づくりチラシ寿司で、皆さんご満悦の楽しい文化のひと時となった。

楽しかった
高齢者サロンの集い

11/3



参加型の楽しい催しが一杯



うぶなぶりでした

は悪戦苦闘しながらもピンクエプロンの栄養委員のサポートで見事に完成。美味しい手づくりうどんに舌鼓を打ちながら次回の参加を誓った。

男性料理教室好評

去る1月30日(土)男性群20人が児島市民交流センター調理室に集結。児島学区栄養改善協議会とマリン児島地区社協主催によりうどんづくりをメインに男性料理教室が開催された。マリン岡田文夫会長の指導によりエプロン姿の男性群



▲大人気の測定コーナー

身近な食情報に聞き入る参加者▶



の新知識情報等で盛り上がり、次は気になる健康チェック。体力測定や骨密度・体脂肪・血流測定等々各ブースは押すな押すなの大盛況。

更には保健師による健康相談、昼食には豚汁の提供があり、時間を忘れての健康三昧の5時間でした。

健康ウォークのつどい

児島愛育委員会による健康ウォークのつどいが12月11日(金)小川中公会堂で開催。寒い中、コスモス広場や酒飲み地蔵の散策を兼ねて地域の方70名が参加。身近なスポーツを散策しながら会話の弾む楽しいウォーキングとなり、最後は手打ちうどんの振舞いにホッと一息でした。



会話も弾む

卒寿を超えて②

小川町 岡野 堅さん(101才)
お世話に忙しい毎日

このコーナーの二回目は小川町にお住いの岡野堅さん(一〇一才)です。いこいの家まで歩道を渡り歩いて来て下さいました。朝は六時に起きて、近くを散歩されるそうです。大変ご多用中で、



元氣はつらつ 岡野さん

です。日記も毎日付けていらつしやいます。耳が少し遠い他はいたって元気な一〇一才です。皆さんのお世話をすることが、元気の秘訣かもしれないですね。(いつまでもお元気でいて下さい)

地域だより

新児島団地は、昭和46年頃より入居が始まり、自治会が発足して40数年が経ちます。

現在では200世帯を超え、11班に分かれて活動しています。

発足当時、自治会館もなく、道路も舗装されてない状態でした。そんな中でも当時の先輩方は、地域の清掃活動(年2回)やお祭り・運動会などの行事を定着させることで自治会員の親睦を図ってきま

我が自治会のあゆみ ④

新児島団地自治会長 山下 茂明

フ・健康体操や太極拳など愛好者が集まり、親睦を深めています。平成14年には、団地の道路を市道にするために市道移管対策協議会を発足させ、市との交渉を重ねることで、現在ではほぼ市道に移管されました。

しかし、40年以上経過した今では高齢化が進み、一人暮らしや夫婦のみ家庭も増えてきました。どのような世帯の人達も協力して生活していくために、自治会がどう関わっていけるかが課題となつています。行事を通して助け合い



行事を通して助け合い